

## (2) アンケート調査の結果について

### ② 在宅介護実態調査の結果について

2023年8月24日

## ②在宅介護実態調査の結果について

### 在宅介護実態調査の実施概要

---

#### 【調査の目的】

第9期まえばしマイルプランの策定にあたり、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現にむけた介護サービスの在り方を検討する。

#### ① 対象者

前橋市内の在宅で生活している要支援・要介護者のうち「要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請」をしている総数636人を対象に実施した。

#### ② 実施結果

##### (1)実施方法

調査票を認定調査員が手渡しし、郵送回答による調査  
国が示した手法を活用し、「基本項目+オプション項目」の調査票を使用

##### (2)実施期間

令和5年1月から、望ましいサンプル数とされる600件以上を確保できた時点まで  
およそ6か月実施  
※認定データとの関連付けなど、有効なサンプル数は605件

## まとめ(調査結果から今後の課題の洗い出し)

### ■ 要介護認定データ

- 90歳以上が3割以上を占めている。また、要介護2以下が7割以上と比較的軽度の方が多く、通所系サービスのみの利用が多いが、サービス未利用者(住宅改修/福祉用具のみ利用を含む)も増加している
- 障害高齢者の日常生活自立度では「準寝たきり」に分類される方が7割以上となっている

### ■ 主な介護者

- 在宅介護において60代以上が主な介護者である場合が7割近くを占めるため、老老介護の状況となっていると考えられる

### ■ 介護者の勤務状況

- 介護のために離職する状況が少し増加しているが、フルタイムやパートタイムで勤務する介護者も増加しており、労働時間の調整、休暇を利用しながら介護している状況がうかがえる

### ■ 必要なサービスとは

- 在宅の状況では比較的軽度の方が多く、施設等への入所や入居の検討中、申請済みが少し増加している
- 介護保険サービスを適度に利用することにより生活が可能となっていると想定されるが、介護者は、生活面で排泄や認知症状への対応に不安を感じている
- 一方でサービス手続きや利用方法がわからない人も増加している

### ■ 今後の課題

- 介護者の高齢化に対する支援策
- 介護者が働きながら介護を継続するために必要な制度の充実、制度利用しやすい社会形成
- サービス利用方法の周知、相談体制の充実による介護や認知症への不安の緩和

②在宅介護実態調査の結果について

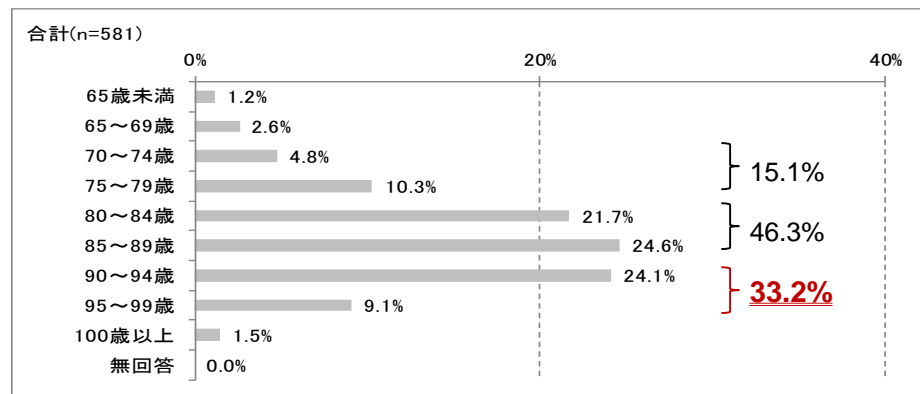
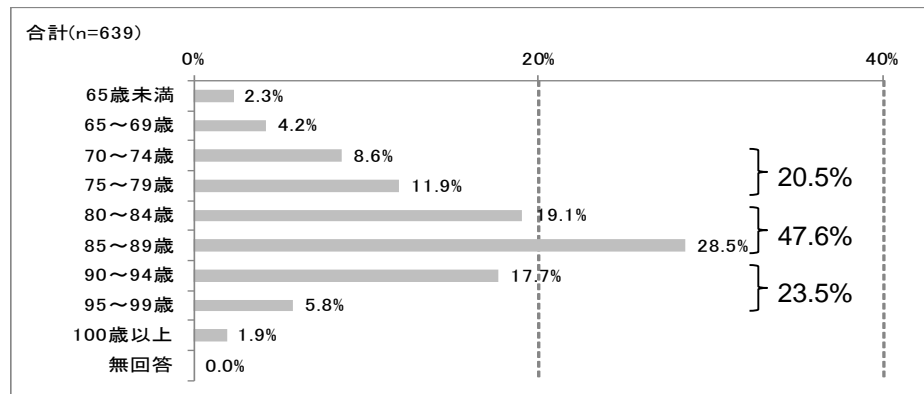
# 1 要介護認定データ(認定ソフト2021より)

## 前回調査

## 今回調査

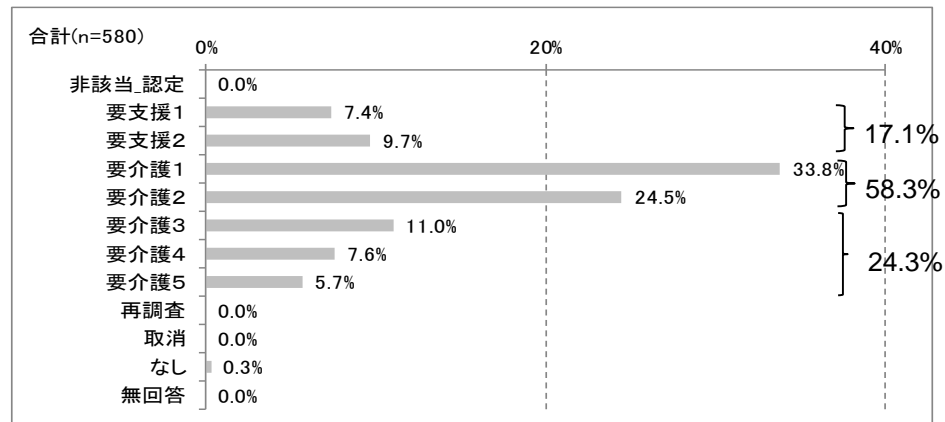
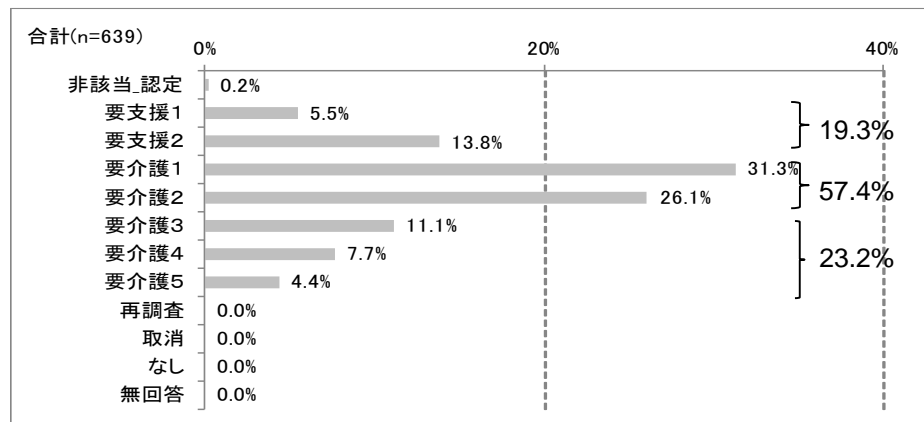
### ■ 年齢

- 介護を受ける人の割合は90歳以上が増加し、全体の3割以上を占めている



### ■ 二次判定結果(要介護度)

- 要支援が減少しており、要介護が増加している



## ②在宅介護実態調査の結果について

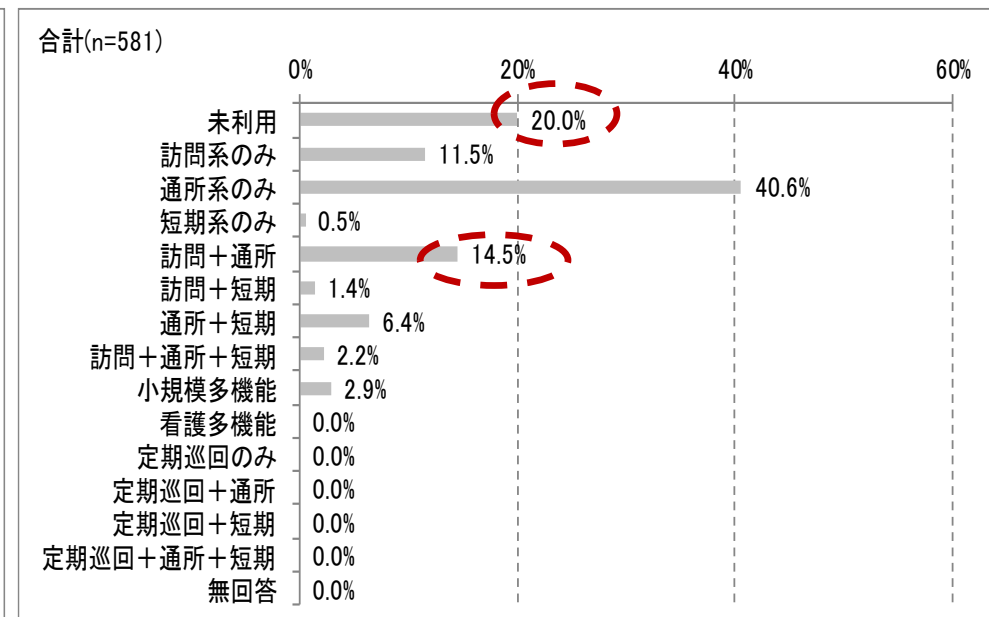
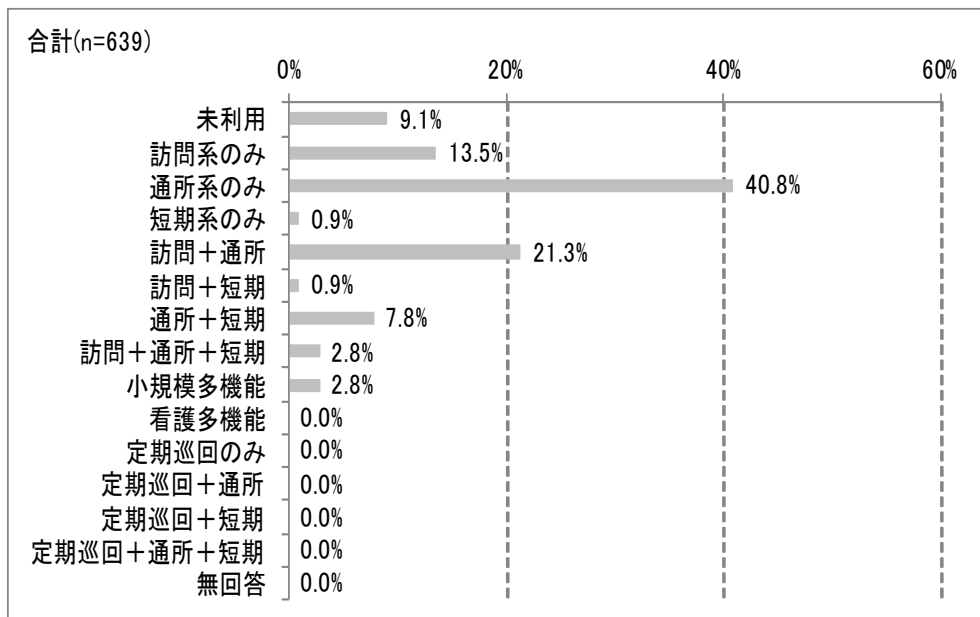
# 1 要介護認定データ(認定ソフト2021より)

## 前回調査

## 今回調査

### ■ サービス利用の組み合わせ

- 「未利用※」が2割に増加している
- 「訪問+通所」の割合が減少している



※未利用・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。

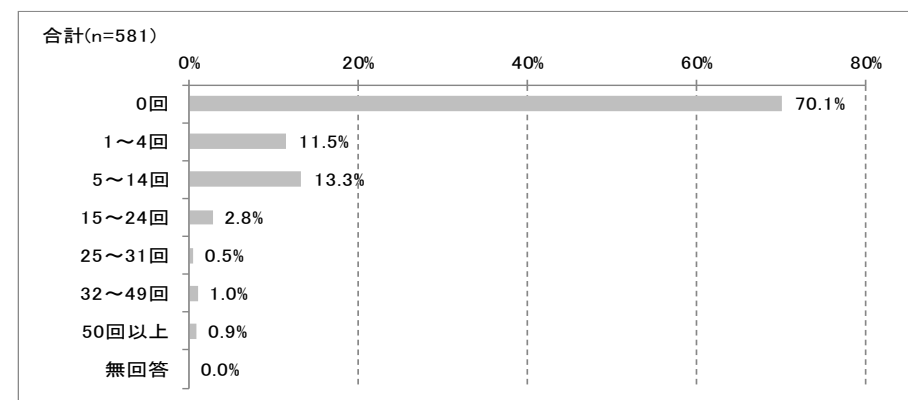
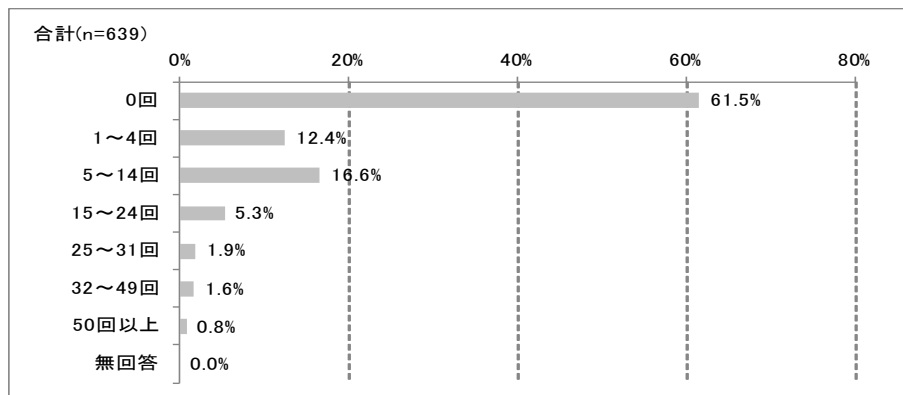
# 1 要介護認定データ(認定ソフト2021より)

## 前回調査

## 今回調査

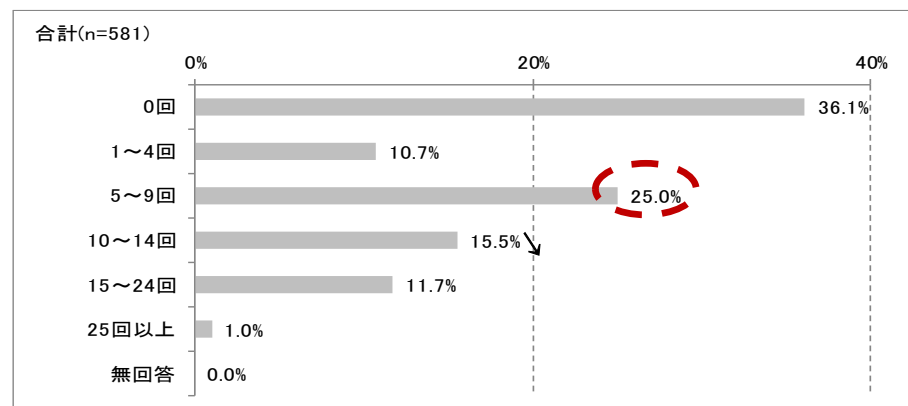
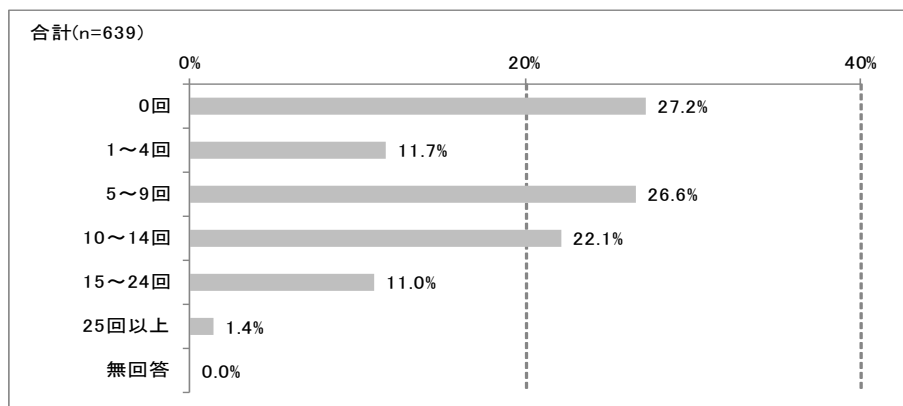
### ■ 訪問系サービスの合計利用回数

- 5～14回利用している割合が高い



### ■ 通所系サービスの合計利用回数

- 5～9回利用している人が多い
- 10～14回利用している割合が減少している



②在宅介護実態調査の結果について

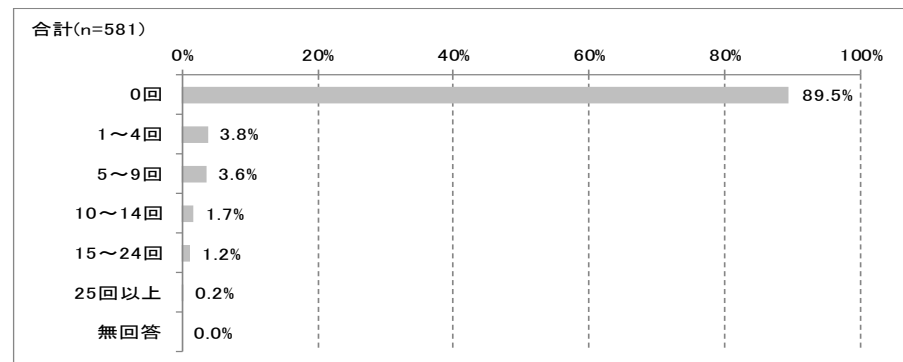
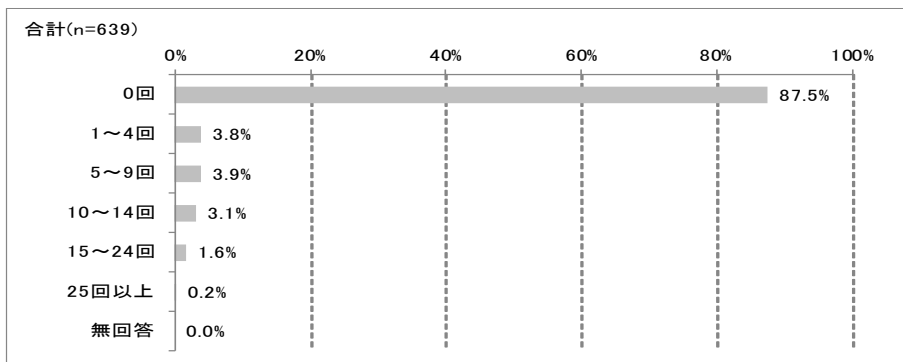
# 1 要介護認定データ(認定ソフト2021より)

## 前回調査

## 今回調査

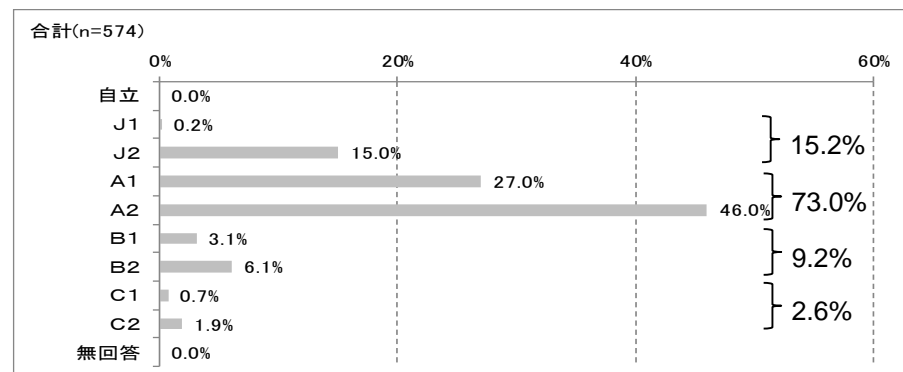
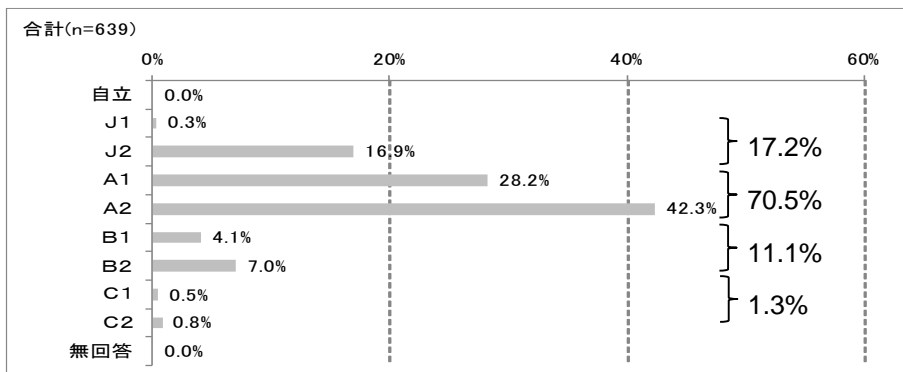
### ■ 短期系サービスの合計利用回数

- 9割近くが利用していない



### ■ 障害高齢者の日常生活自立度

- ランクAの「準寝たきり」の状態がA1、A2合わせて7割以上となっている
- J2の「ほぼ自立」の割合が少し減少している

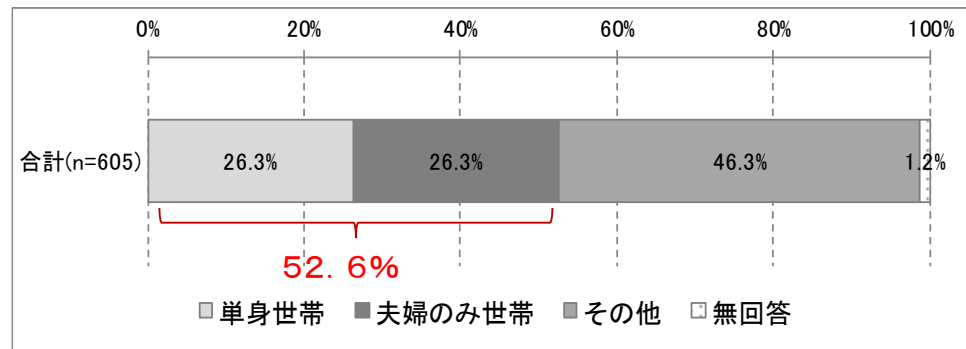
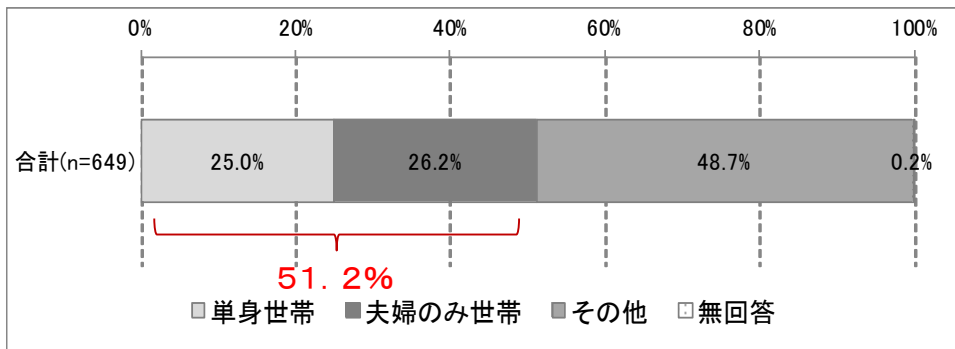


## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

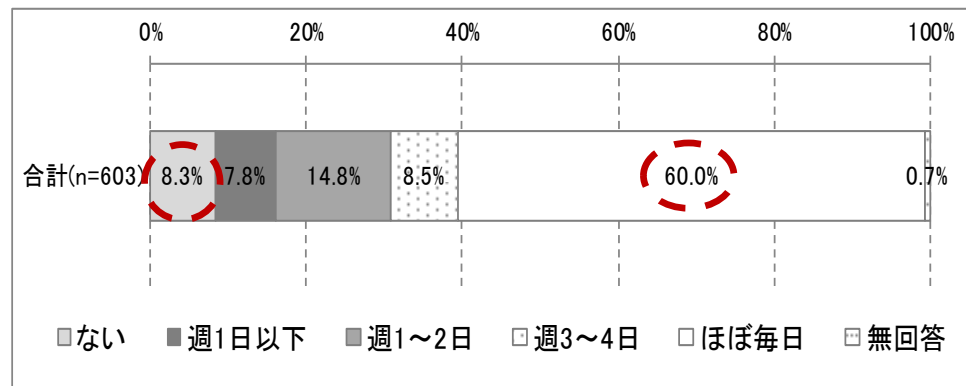
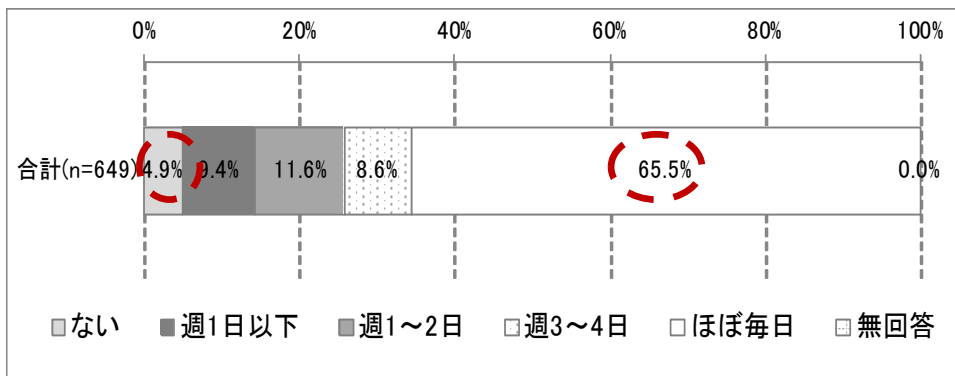
### ■ 問1 世帯類型について(1つを選択)

- 「単身世帯と夫婦のみの世帯」の合計が増加傾向にある



### ■ 問2 家族等による介護の頻度について(1つを選択)

- 「ほぼ毎日」が5.5%減少しており、「ない」が増加している



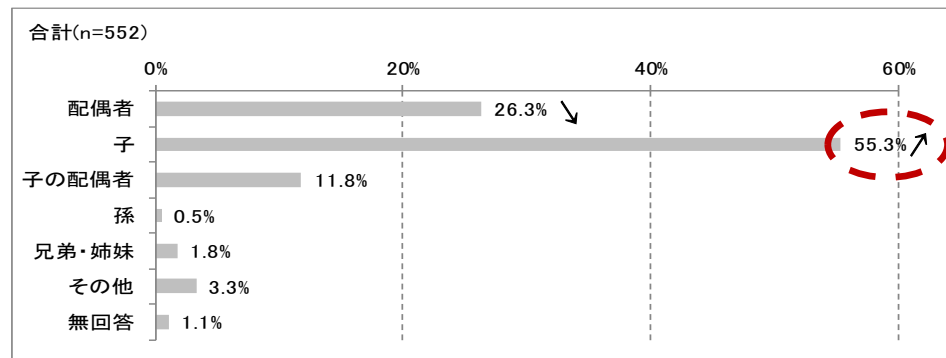
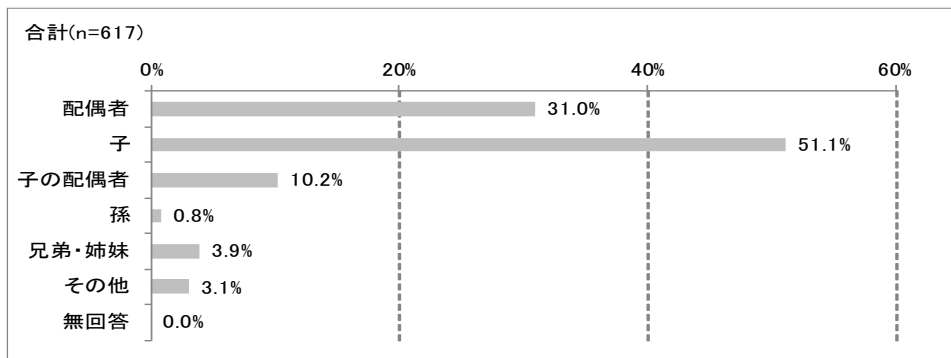


## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

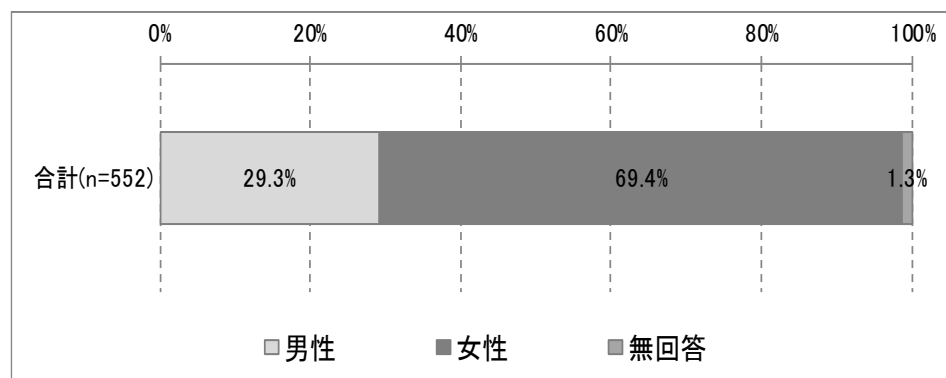
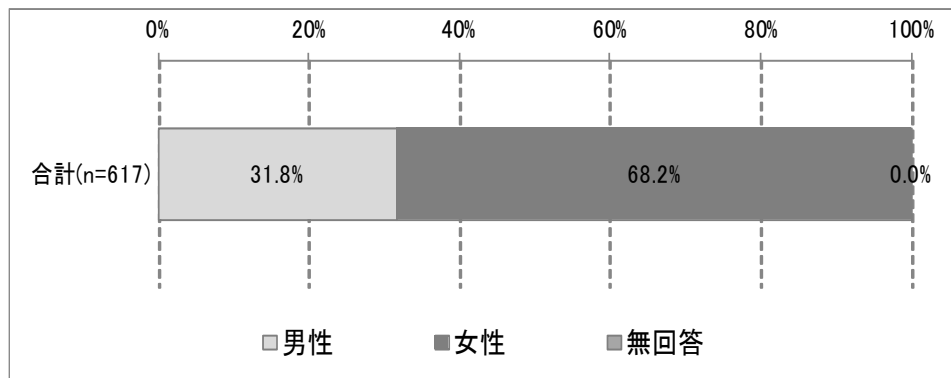
### ■ 問3 主な介護者の関係(1つを選択)

- 「子」が増加し5割を超え、「配偶者」が減少し4分の1程度になっている



### ■ 問4 主な介護者の性別(1つを選択)

- 「女性」が若干増加している

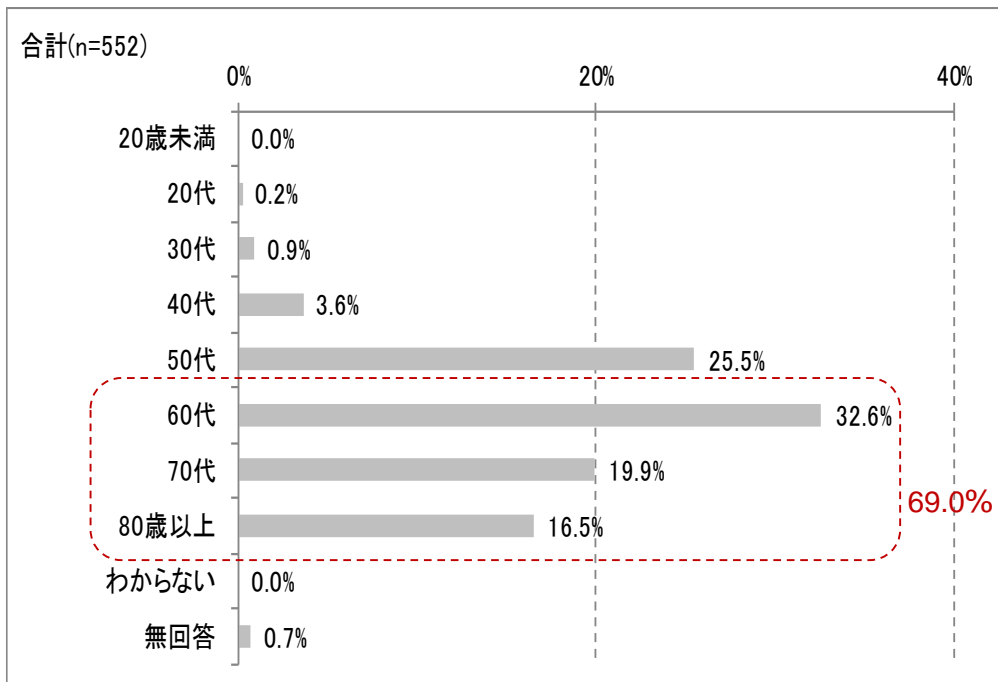
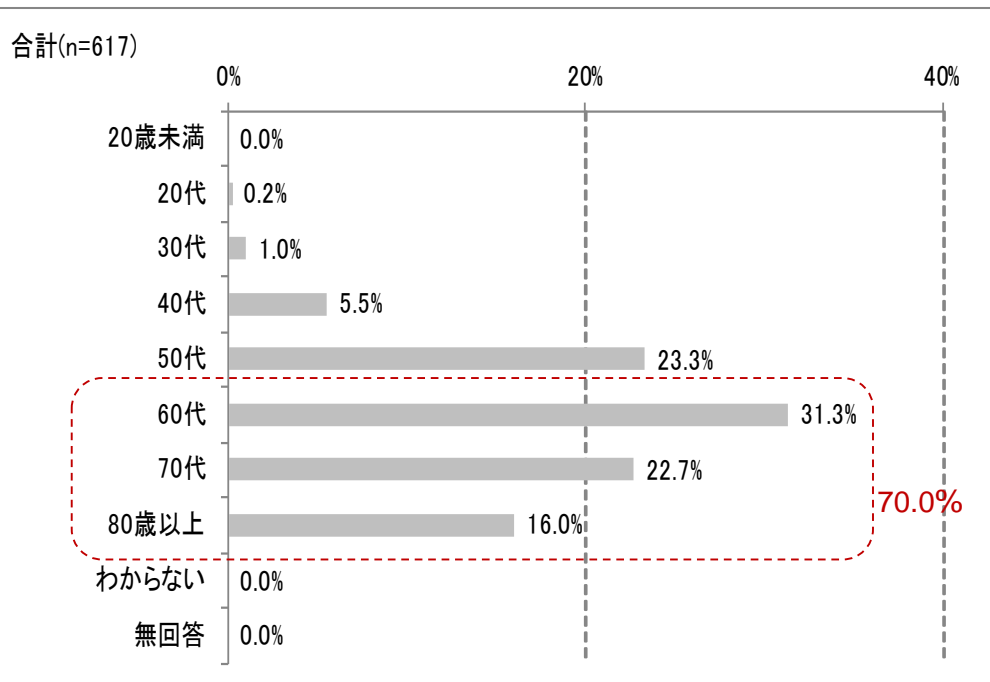


## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

### ■ 問5 主な介護者の年齢(1つを選択)

- 60代以上が7割を占め、いわゆる老老介護となっている状況である



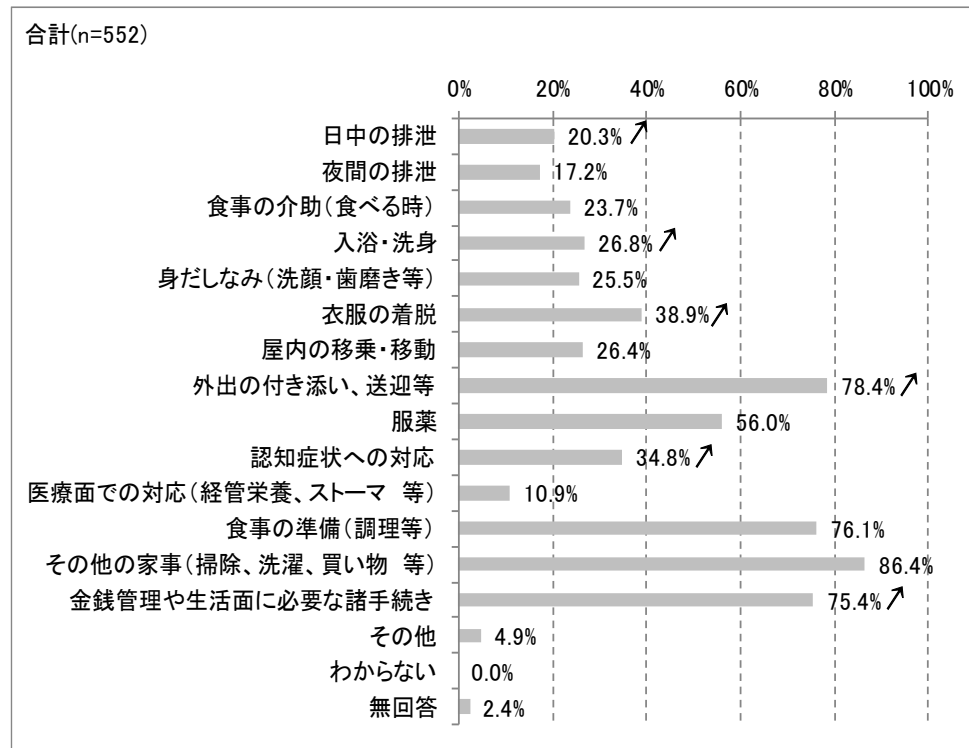
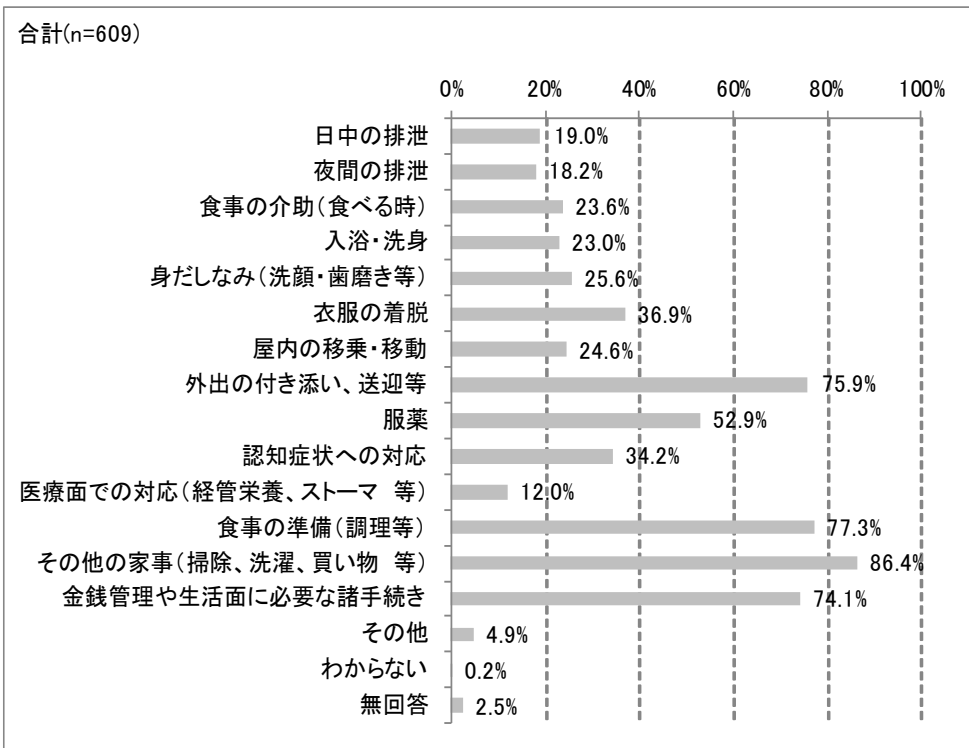
## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

### ■ 問6 主な介護者の行う介護等

(身体介護・生活援助・その他 の項目で複数選択可)

- 日中の排泄、入浴・洗身、衣服の着脱、外出の付き添い、認知症対応、金銭管理等が増加している



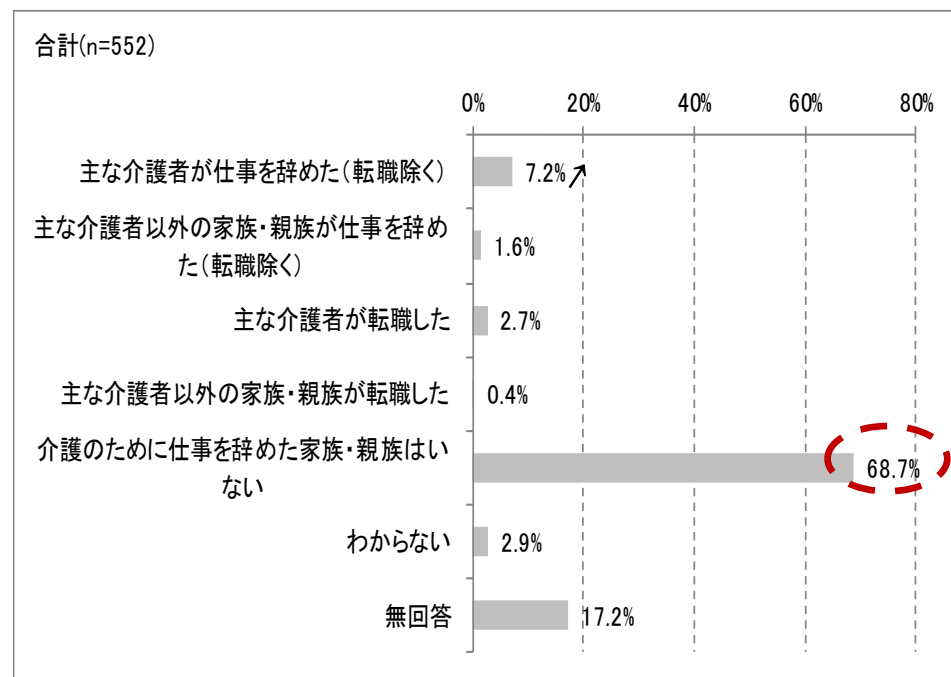
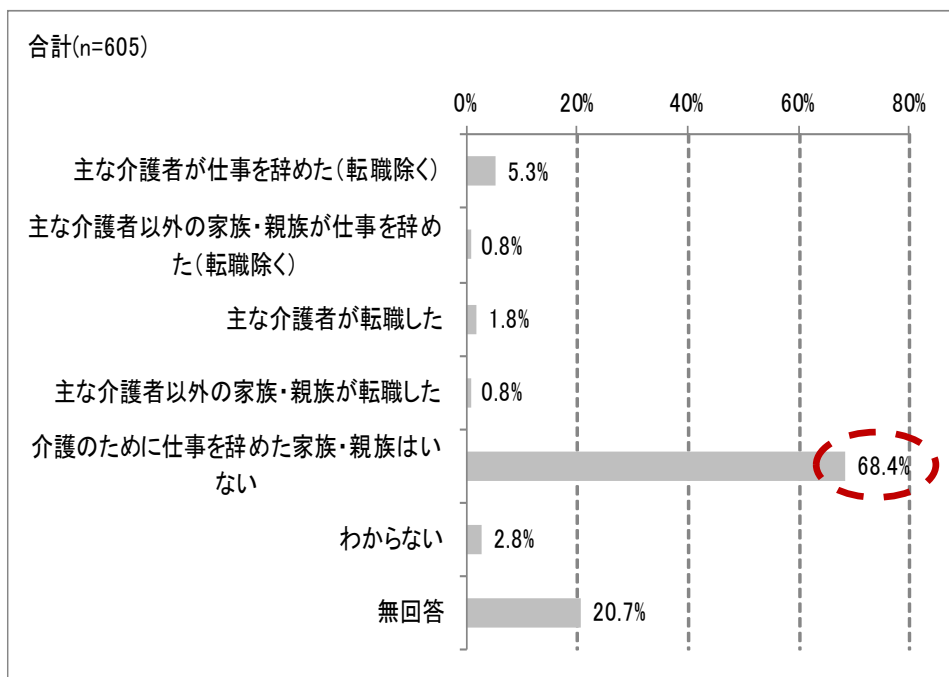
## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

### ■ 問7 介護のための過去1年間の離職の有無

(複数選択可)

- 「主な介護者が仕事を辞めた」が少し増加している
- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は7割程度で大きな変化はない



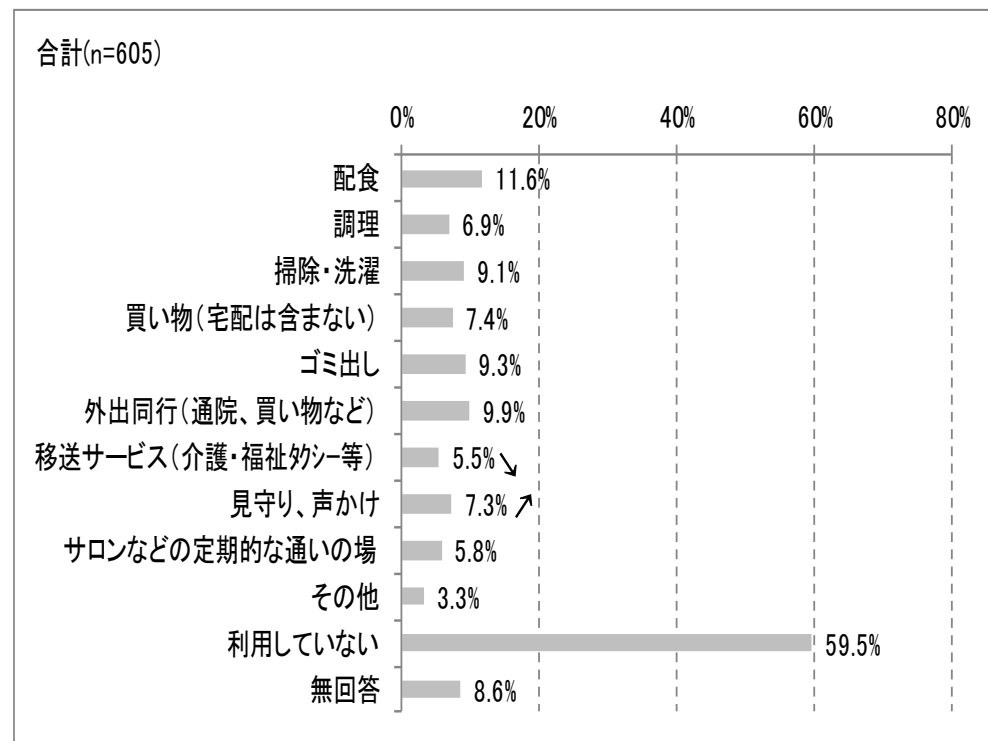
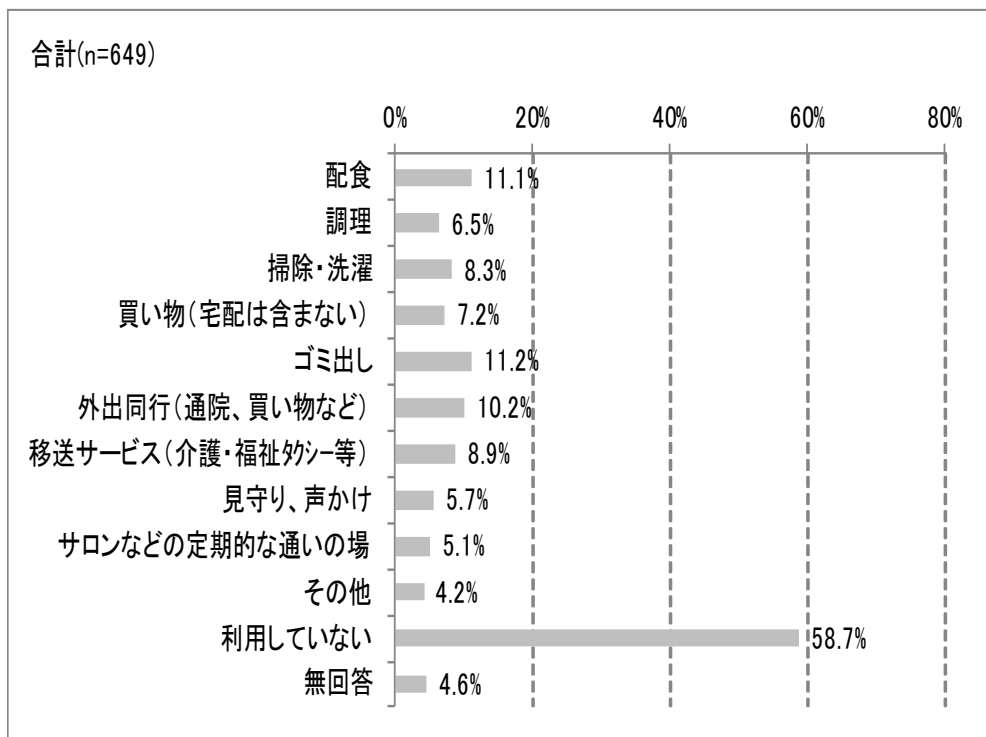
## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

### ■ 問8 介護保険外の支援・サービスの利用状況

(複数選択可)

- 移送サービスが減少し、見守り・声掛けが増加している

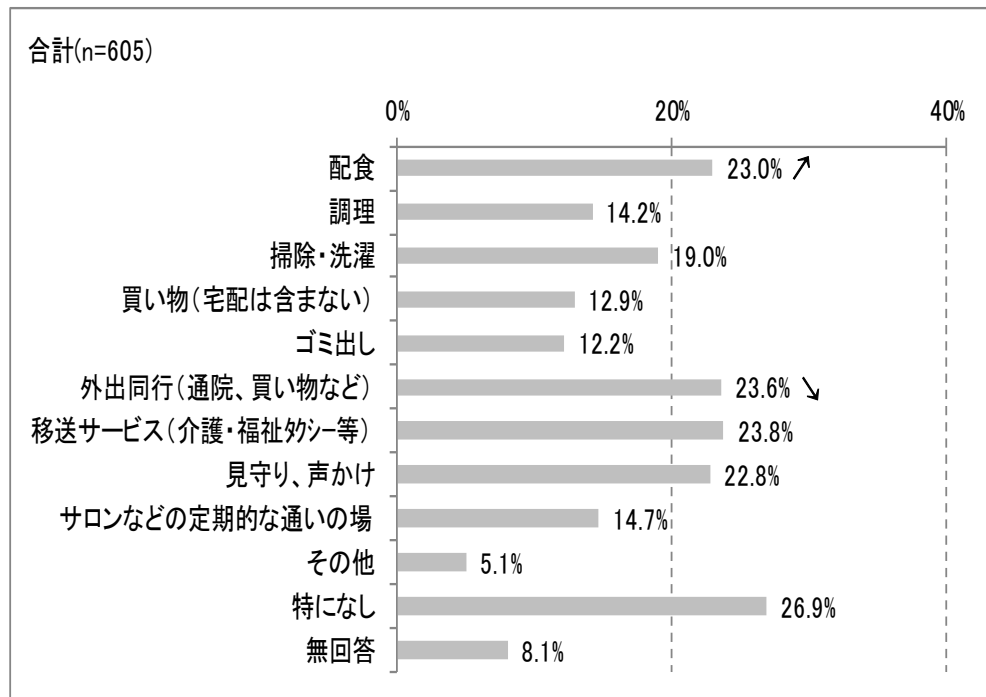
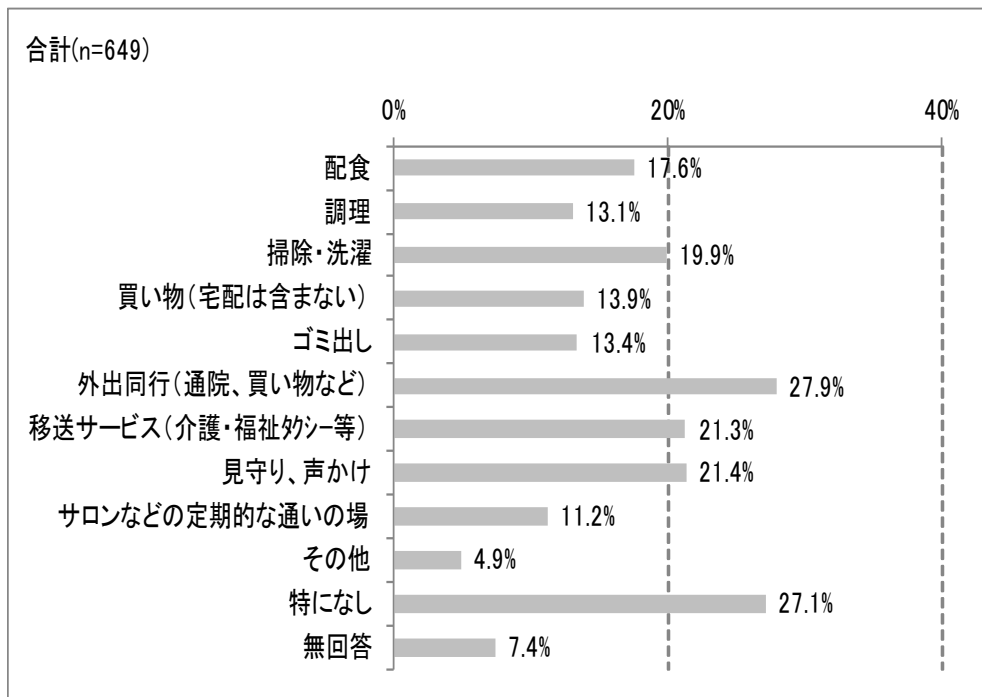


## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

■ 問9 今後の在宅生活の継続のために充実が必要な  
支援・サービス(複数選択可)

- 配食支援の割合が増加し、外出同行の割合が減少している



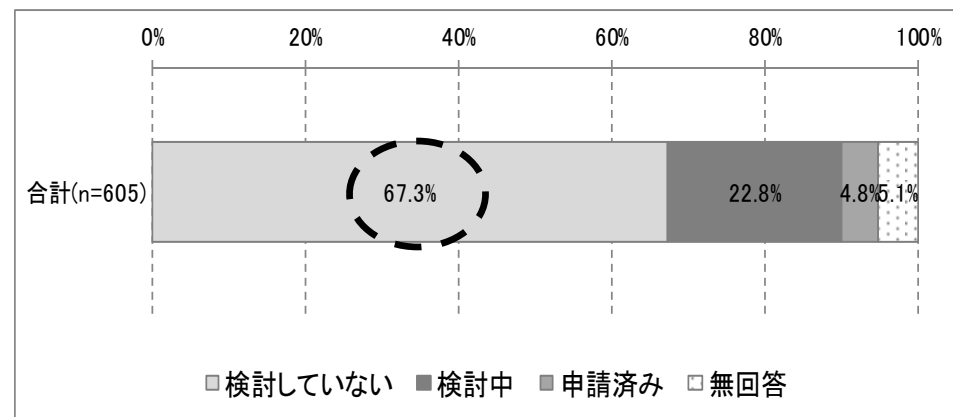
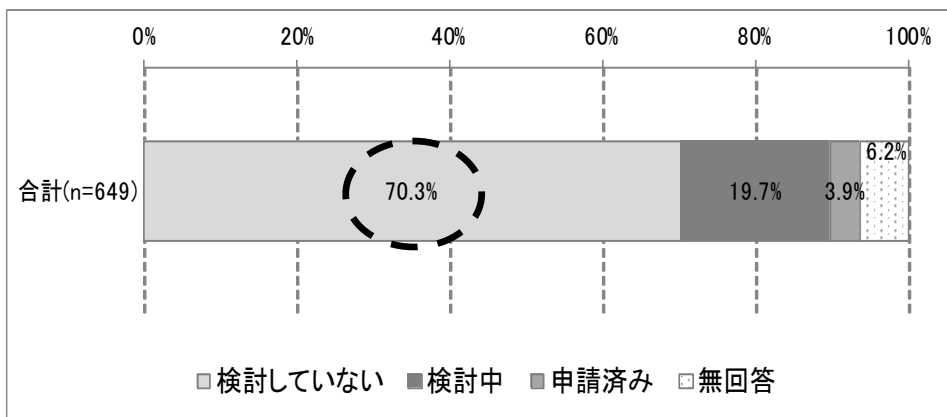
## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

### ■ 問10 施設等への入所・入居の検討状況

(1つを選択)

- 「検討していない」の割合が減少傾向にある
- 「検討中」「申請済み」の割合が増加傾向にある

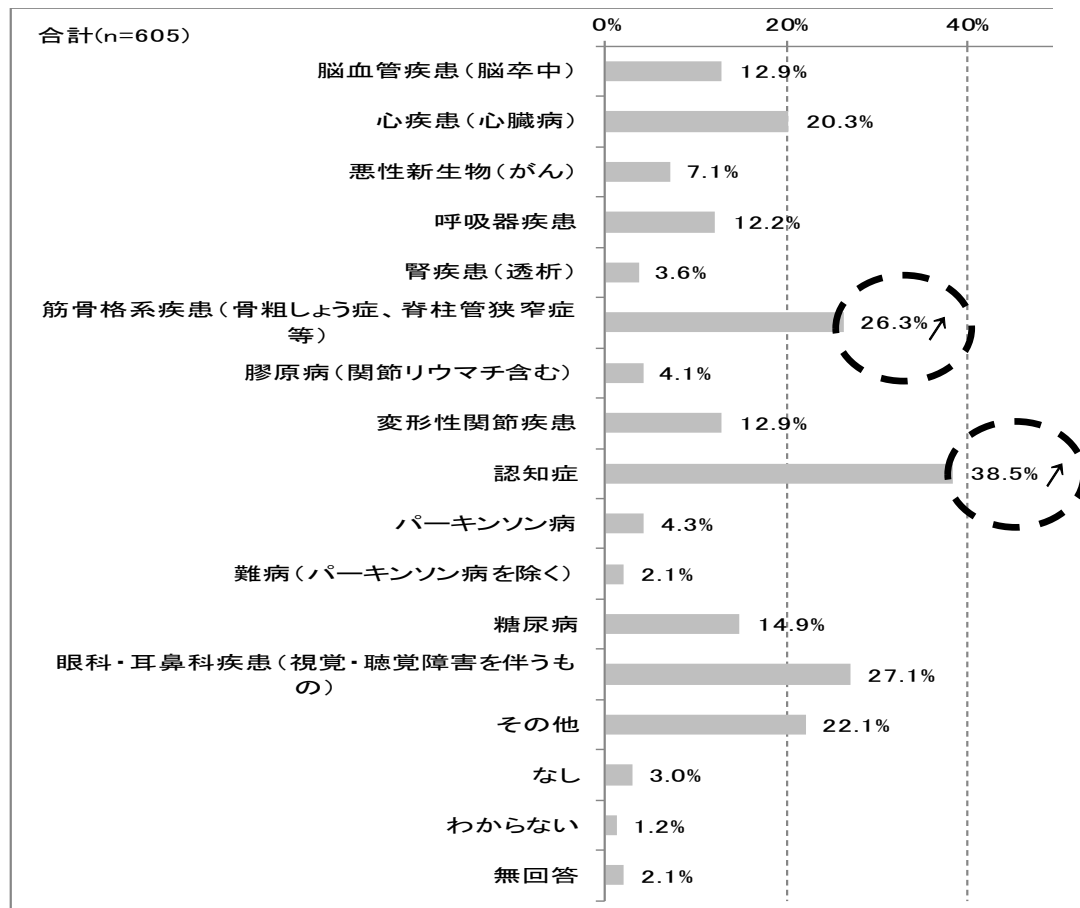
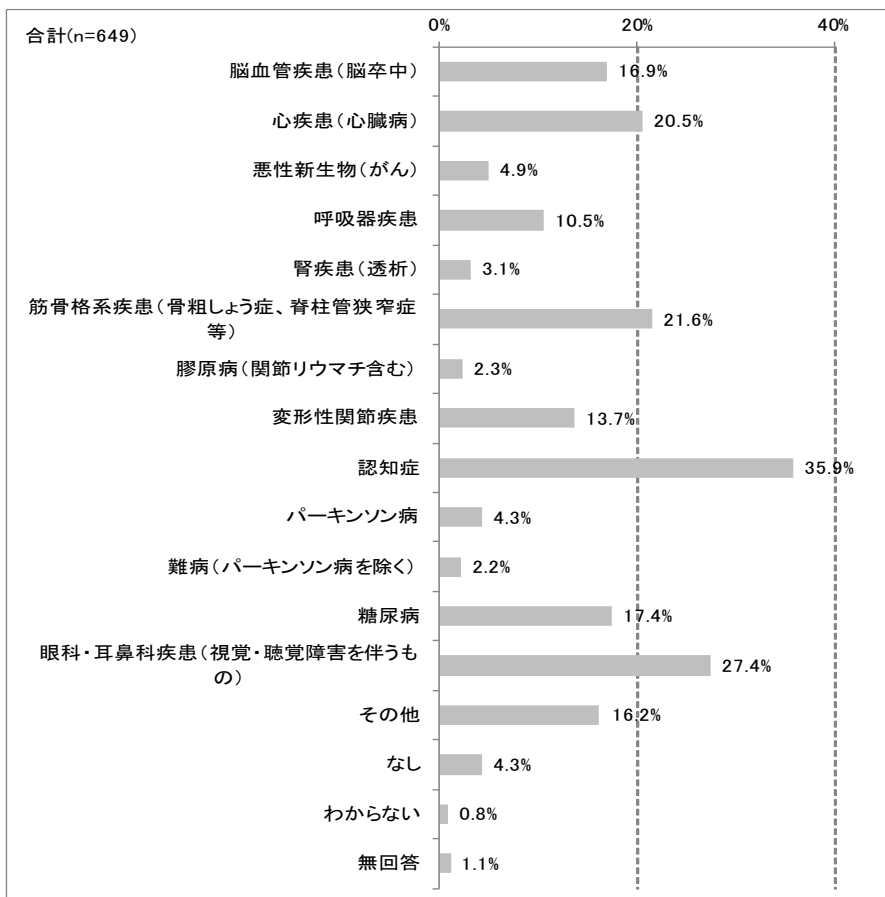


## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

### ■ 問11 本人が現在抱えている傷病（複数選択可）

- 「認知症」が最も多く、4割近くに増加している
- 筋骨格系疾患も増加している



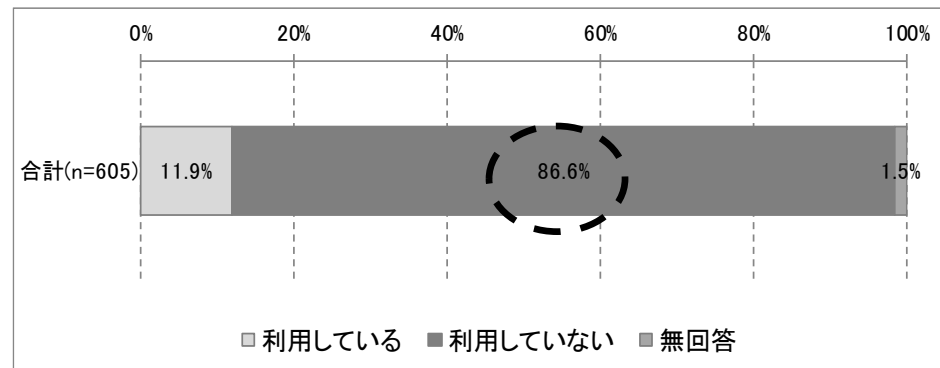
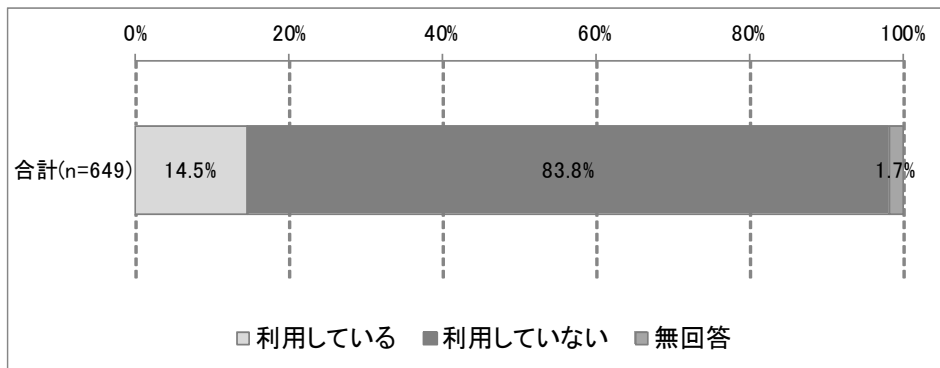


## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

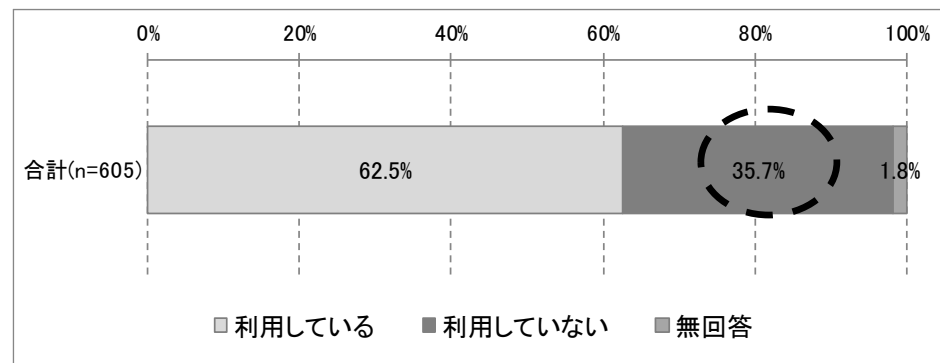
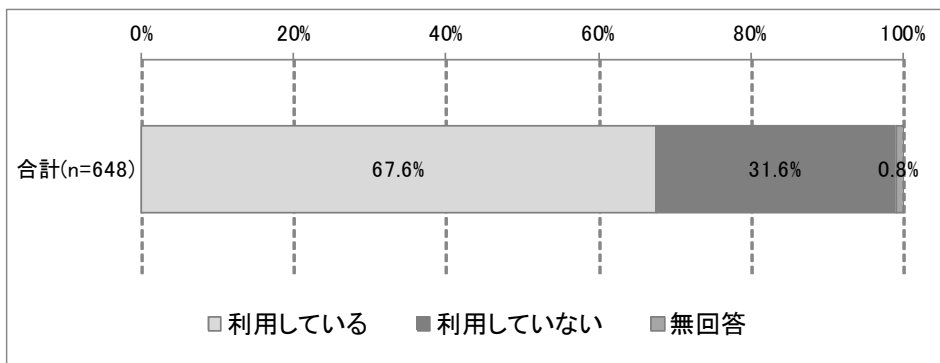
### ■ 問12 本人は訪問診療を利用しているか(1つを選択)

- 「利用していない」が8割以上であり、前回よりさらに増加している



### ■ 問13 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用の有無(1つを選択)

- 「利用していない」が増加している

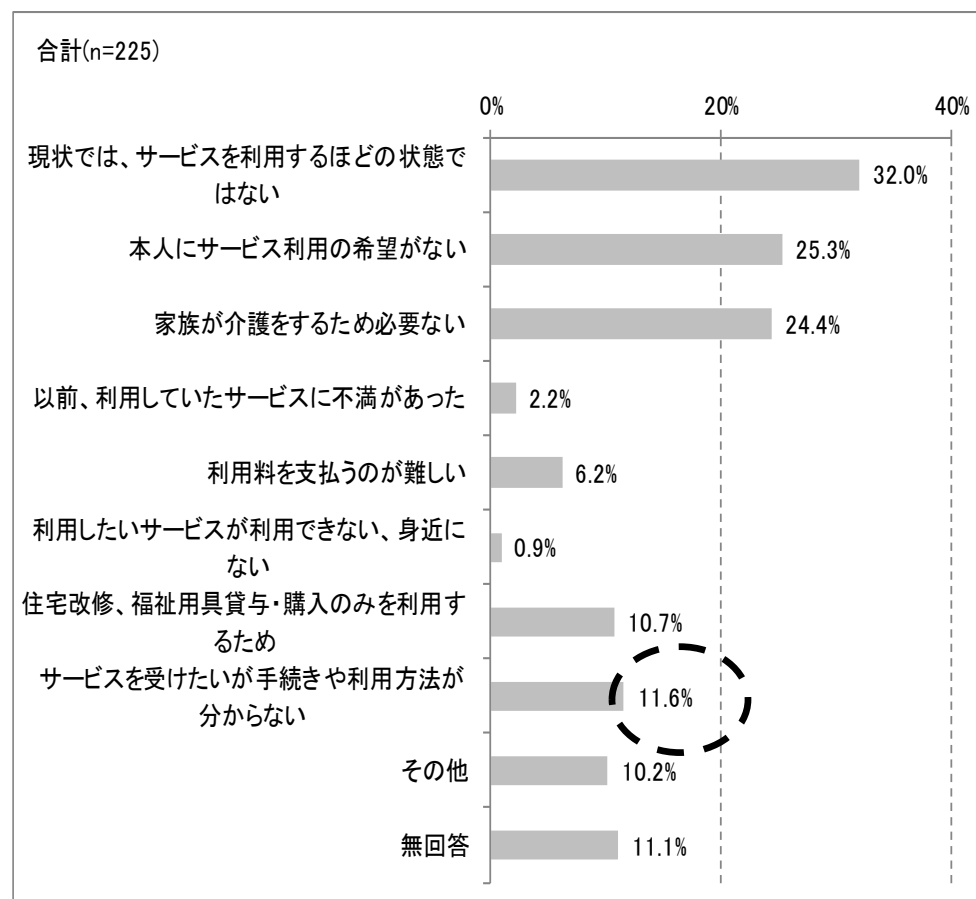
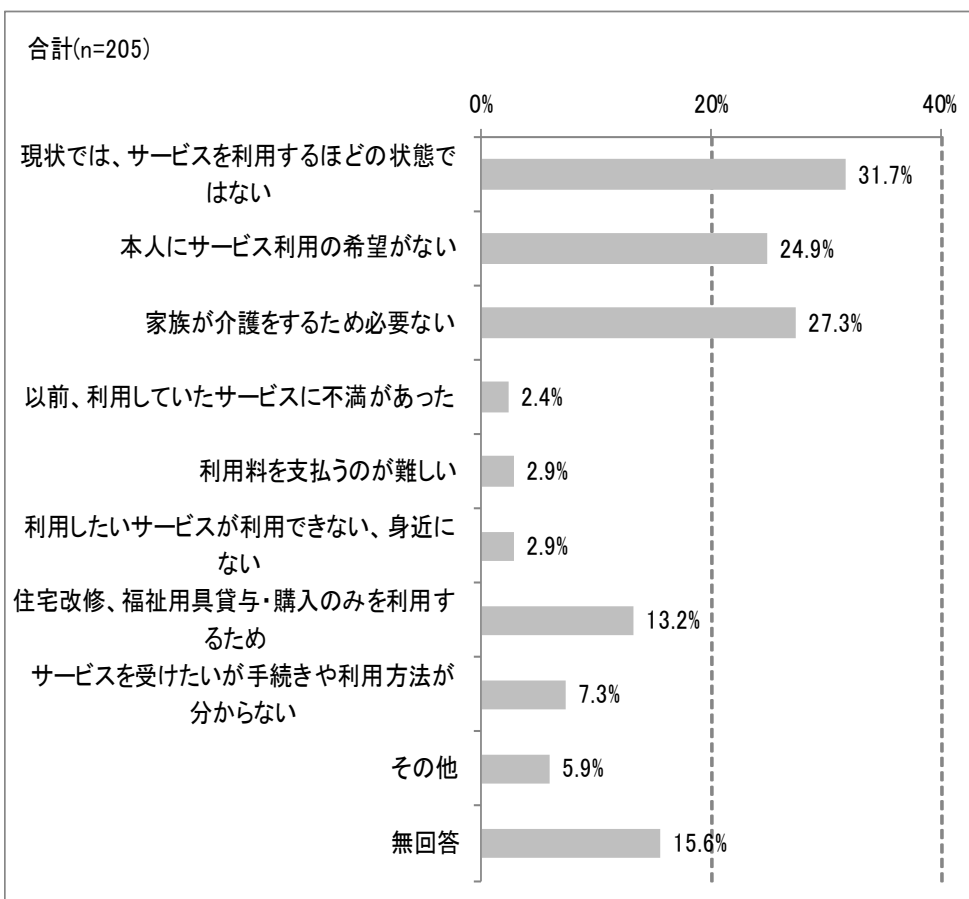


## 2 基本調査項目(A票) 前回調査

## 今回調査

### ■ 問14 「問13」でサービス未利用と回答した場合のその理由 (複数選択可)

- 「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」の割合が増加している

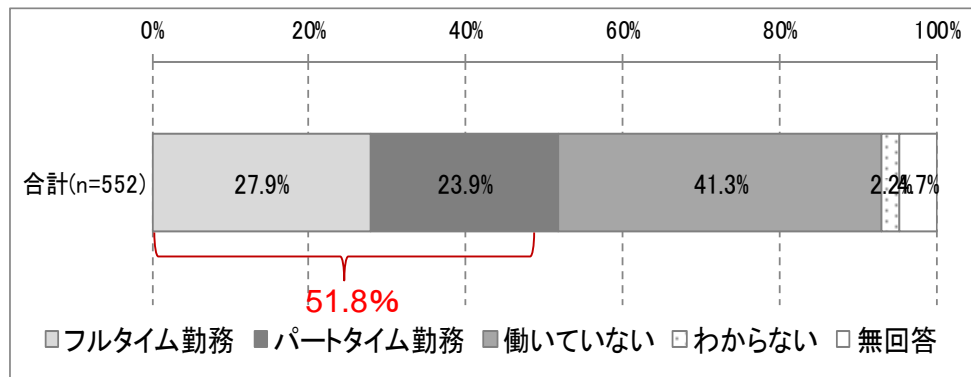
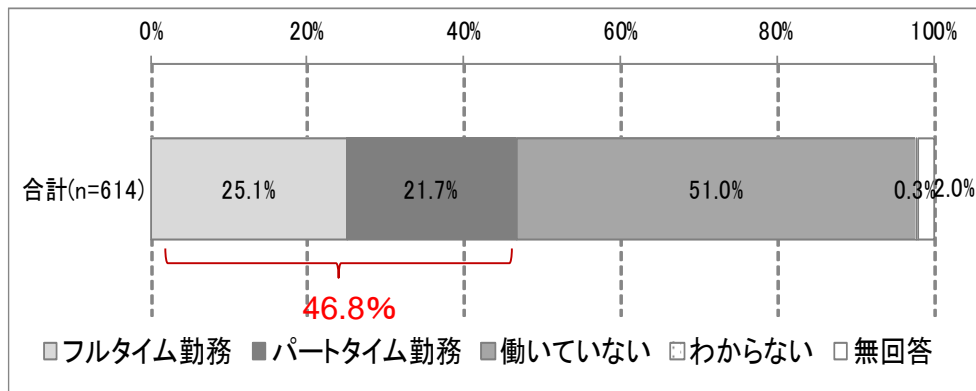


### 3 主な介護者用の調査項目（B票） 主な介護者もしくは本人に回答、記入頂く項目

前回調査 今回調査

■ 問1 主な介護者の勤務形態（1つを選択）

- フルタイム勤務もしくはパートタイム勤務の割合が半数以上に増加している

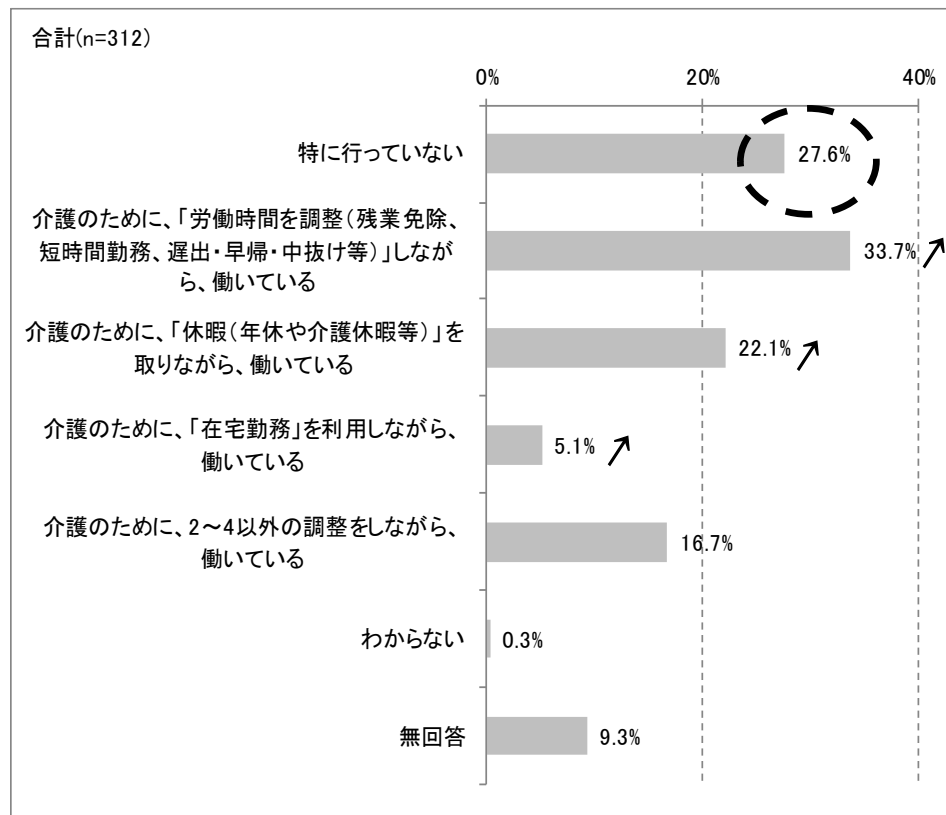
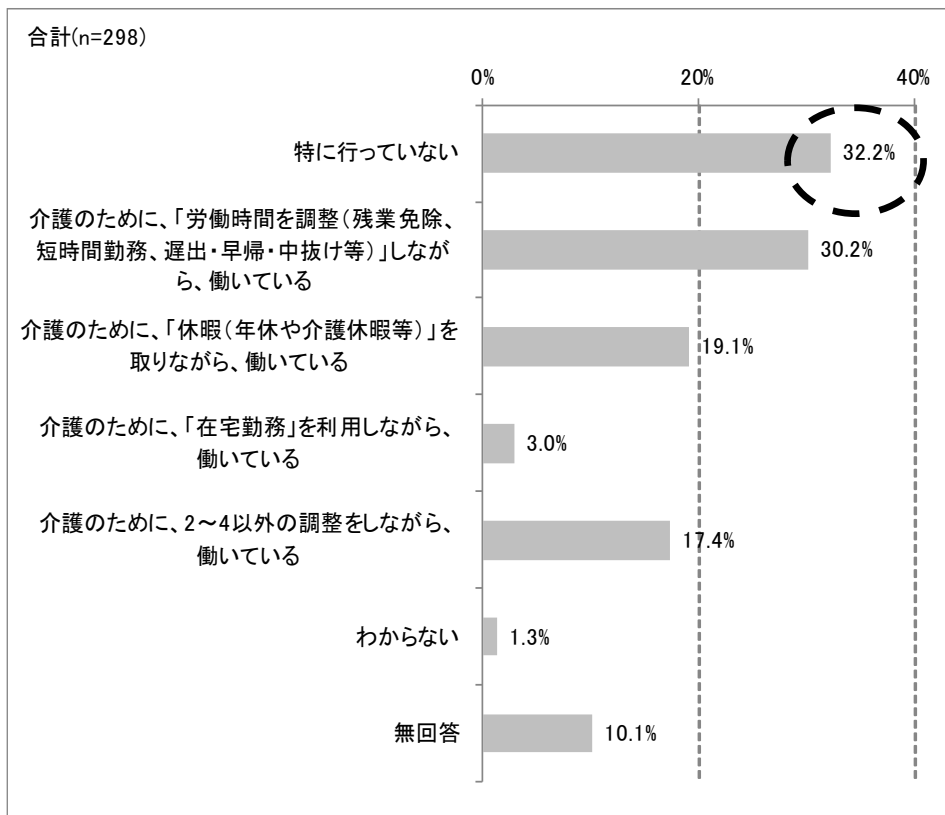


### 3 主な介護者用の調査項目（B票） 主な介護者もしくは本人に回答、記入頂く項目

前回調査 今回調査

■ 問2 主な介護者の方は、働き方についての調整等を行っているか（複数選択可）

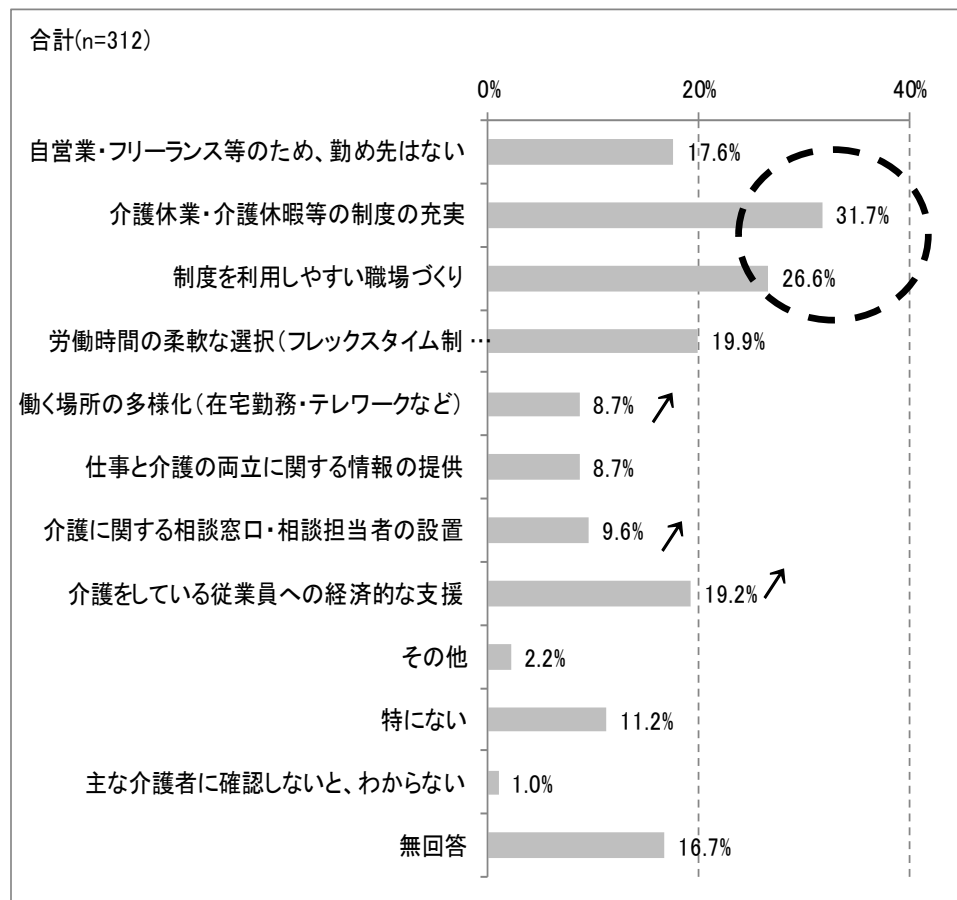
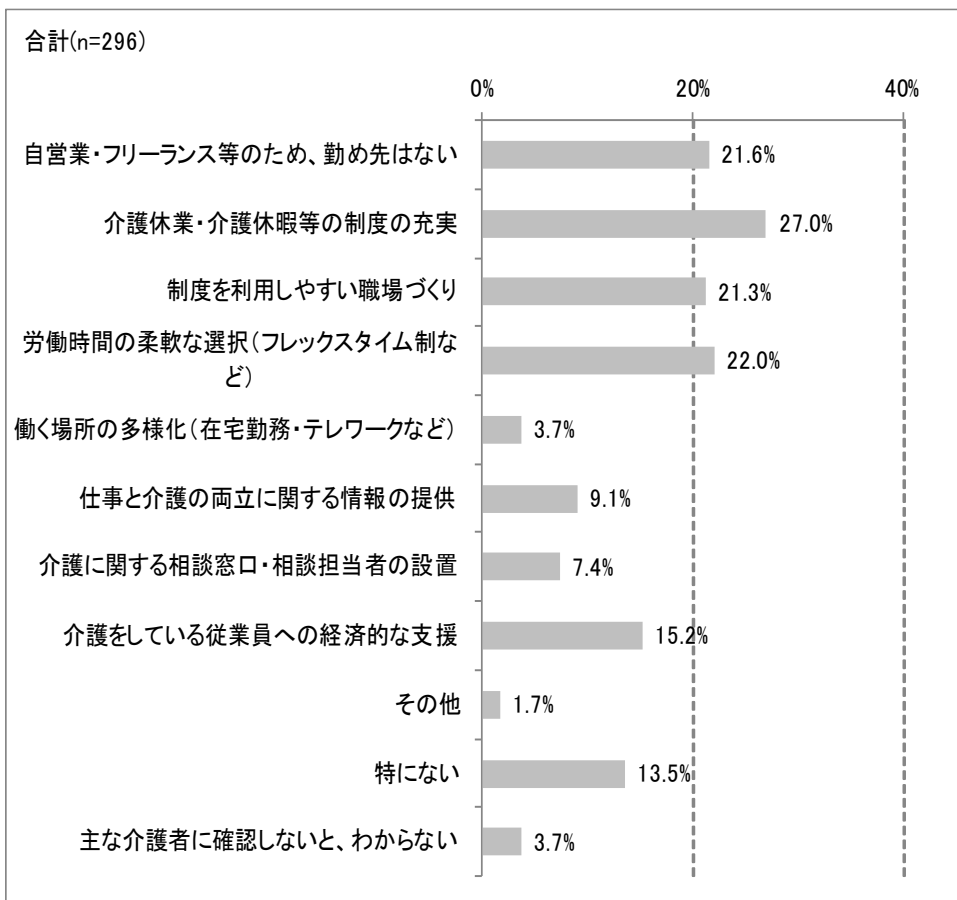
- 「特に行っていない」が減少し、介護のために、調整をしながら、働いている様子が見える



### 3 主な介護者用の調査項目（B票） 主な介護者もしくは本人に回答、記入頂く項目 前回調査 今回調査

■ 問3 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援は(3つまで選択可)

- 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や「制度を利用しやすい職場づくり」が増加している
- 「働く場所の多様化」「介護に関する相談窓口の設置」も増加している



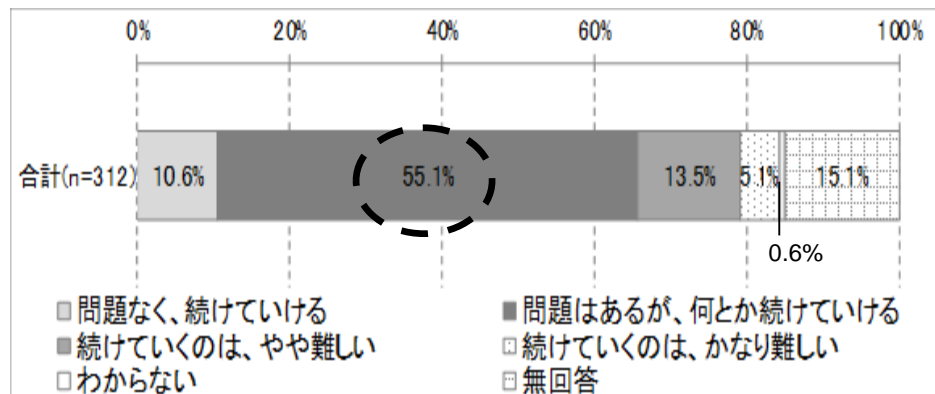
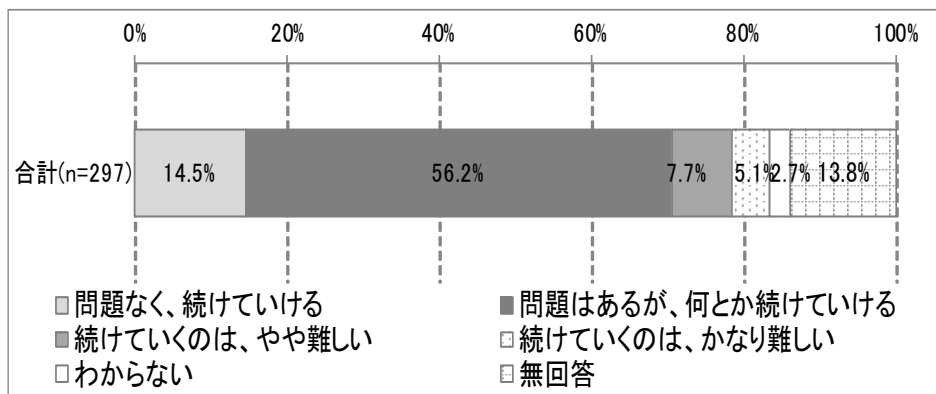
### 3 主な介護者用の調査項目（B票） 主な介護者もしくは本人に回答、記入頂く項目

#### 前回調査

#### 今回調査

#### ■ 問4 主な介護者の方は今後も働きながら介護を続けていけそうか（1つを選択）

- 半数以上が「問題はあるが、何とか続けている」と回答
- 「問題なく続けていける」の割合が減少し、「続けていくのは、やや難しい」が増加している



### 3 主な介護者用の調査項目（B票） 主な介護者もしくは本人に回答、記入頂く項目 前回調査 今回調査

■ 問5 現在の生活を継続するにあたり、主な介護者が不安に感じる介護等は（複数選択可）

- 「認知症への対応」が4割以上に増加
- 「入浴・洗身」「外出の付き添いや送迎等」も3割近くに増加している

